

月例研修会レポ

下ツ道を行く

福田 美伸

2月9日、新型コロナウイルス禍で世の中が騒でいるのに、近鉄橿原線石見駅9時30分集合、総勢26名がゾロゾロと歩いたから付近の人達は、きっと驚いたに違いありません。月例会は一昨年の積み残しの下ツ道を南へ約10km。皆さん、田原本近辺に、正一位の格式の高い立派な神社が点在していたことを、ご存知だったでしょうか？私は奈良に26年も住んでいたのに、全く知りませんでした。



唐古・鍵遺跡前で

下ツ道は、藤原京から平城京まで南北に真直ぐで幅23m、長さ約23km、しかも上ツ道、中ツ道、下ツ道と三本の同じ道があったというから驚きます。大和郡山市稗田町には、下ツ道の幅18m、長さ19mの橋の杭跡が現存しております。下ツ道は江戸時代には中街道と呼ばれ、重要な街道として利用されておりました。平城京朱雀門前には下ツ道から続く、幅74m、東西に260m、南北に140mの道が通っていたというから、さらにビックリします。現代でも、考えられないような道が存在しておりました。当時の天皇が秦の始皇帝時代の都を模倣したとネットに書いてあります。



下ツ道(古代)・中街道(中世)・田原本町

唐古・鍵遺跡には、柱に使われていた直径83cmの木が展示されておりました。弥生前後の時代に、どのような道具で切って、何トンもあるものをどのように運んだか？不思議でなりません。杵築神社、安養寺、首切り地藏を回り、鏡作坐天照御魂神社へ。天照国照彦火明命、石凝姥命、天糠戸命の三神を本殿として祀った正一位の立派な神社でした。全国の鏡メーカーから尊ばれております。



鏡作神社 鳥居

田原本藩主、平野長勝の菩提寺、本誓寺、浄照寺、津島神社等を見学。さらに南下し、最後に正一位の多神社は多坐弥志理都比古神社が正式な名称です。神武天皇の血筋で、境内には多氏の家があり、百数十代目の方が住んでおられます。四主祭神は神武天皇、神武天皇皇子、綏靖天皇、玉依姫命が本殿に祀られ、古事記を編纂した太安万侶も祀られています。官位従六位下であったが古事記編纂した後、官位正四位下に大出世です。まだ見たことがない人は、是非見に行ってください。とても素晴らしい神社です。



多神社 四主祭神 本殿は県指定文化